

保護者 各位

河野小学校長 山内朋江

## 令和7年度「教育活動に関するアンケート」のお礼と結果報告について

弥生の候、皆様にはご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。日ごろより、本校の教育活動に対し、温かいご理解とご協力をいただき、心からお礼申し上げます。

さて、先日はご多用の中、「教育活動に関するアンケート」にご協力をいただき、ありがとうございました。つきましては、その結果について下記の通りお知らせいたします。各項目の集計結果は裏面をご覧ください。今後もこの結果を生かしつつ、さらに改善を加え、令和8年度の学校運営に取り組んでいきたいと思っております。

## 記

## I 『確かな学力と探究力』について

今年度の教育目標は「えがお かがやく」です。スクールプランに示された目標を達成するためには、児童が楽しく学習に取り組み、確かな学力を身に付けることが重要です。そのため、教職員は、様々な場面でICT機器を活用し、全ての児童が理解しやすい授業の実践を進めてきました。また、自らの意見や思いを交流させる中で、学びを深めたり多様な見方・考え方ができたりする学習展開を進めてきました。

アンケート結果は、「学習内容が分かる」と答える児童が100%、「学校での勉強を理解している」と思う保護者は91%でした。これらのポイントは、昨年より上昇し、いずれも目標を超えました。また、全児童が、友達の意見を聞いたり話し合ったりする学習を楽しんでいると感じており、課題提示・意見共有・振り返りの方法を工夫した授業づくりが良い結果につながったと考えられます。今後も、より楽しく分かりやすい授業づくりを進めていきます。以前からの課題として、読書習慣を身に付けていると答える保護者の割合が今年度も低くなっており、楽しく本に触れる活動を工夫したことで、児童の読書に対する意識は向上してきております。引き続き、ご家庭でも本に触れる時間が増えるようご協力をお願いします。

## II 『安心・安全で笑顔あふれる学校』について

学校では、児童が安心・安全に生活を送ることが非常に重要です。その実現のために、今年度も、保護者アンケートや友だちアンケートを通していじめや不登校防止に取り組みながら、楽しく活動できる学校行事などを工夫し、学校に来るのが楽しいと感じる学校づくりに取り組んできました。

アンケート結果では、「学校へ通うのが楽しい」と答える児童94%、「楽しく通っている」と感じる保護者84%と、目標を達成することができました。また、全児童が、「他の学年の友達と意欲的に様々な活動ができた」と答えています。さらに、「いじめや差別をしないで友達の良いところを見つけている」児童が97%で、いじめや差別は許されることではないという正しい考え方が備わっていると答える保護者も、90%という高い回答を得ました。一方で、「自分の良さを伸ばそうと努力している」と感じる保護者の割合が68%とやや低くなっています。今後も、自分を大切に、自己有用感を育める活動を取り入れながら、心身ともに安心して安全な学校生活を保障できるようにしていきます。

## III 『健やかな体と豊かな心』について

今年度も、しおかぜランニングや縄跳び、児童の企画による体育活動の実施など、楽しく体を動かし運動が好きになる児童の育成を目指しました。また、教育相談活動の充実を図り、居心地の良い環境作りにも取り組んできました。アンケート結果では、体を動かすことが好きな児童が94%、協力や助け合いができる児童が100%、誰かに相談できる児童が81%でした。いずれも目標を上回っています。引き続き、今年のような取り組みを続けていきます。ただし、早寝早起き朝ご飯と歯磨きをしてからの登校については、保護者の回答が74%で目標に届きませんでした。次年度も、心と身体の健康を重視し、声かけを継続していきます。

## IV 『ふるさと教育と信頼される学校づくり』について

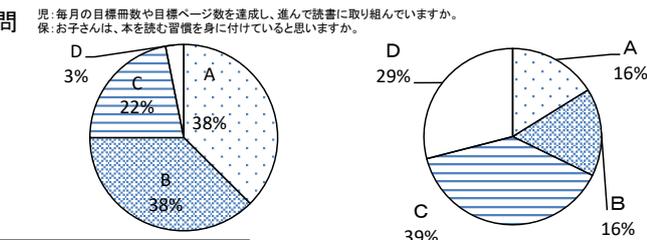
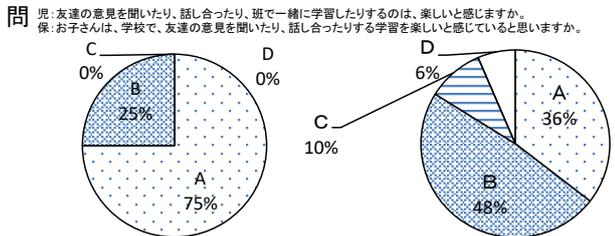
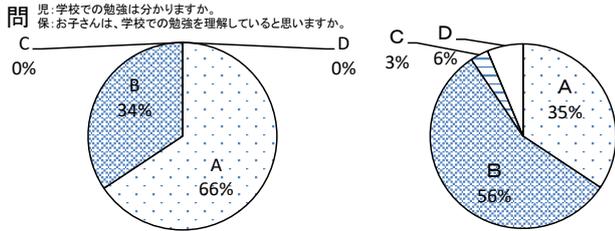
保護者の皆様には学校のことを理解していただくため、学校だよりなど様々な情報の発信や授業公開を実施してきました。アンケート結果では、90%の保護者から「学校の情報をよく理解できている」と回答を得ました。多くの保護者の皆様には学校の取り組みの様子をご理解いただけたと感謝しております。今後も、情報発信に努めてまいります。また、今年度は、全学年で地域学習に力を入れてきました。100%の児童からふるさとを大切にしたいという気持ちが高まったと回答があり、手応えを感じております。

一方で、学校からのおたよりを読んでいるという児童が56%と低く、課題が残りました。今年度から、お便りを配信することにしました。児童もお便りを読む機会を増やすためにも、親子でお便りに目を通す時間を確保していただけると助かります。また、スマートルールを守って機器を使うことができたという児童は78%で、ほぼ目標に達していましたが、保護者から見たお子様の使用状況は52%とお子様との間に大きな開きがあります。学校では、ノーメディアチャレンジに取り組んだり情報機器の使用による弊害の怖さについて啓発したりしています。ご家庭でも、情報機器の使い方について、今一度話し合ってください。今後も、家庭との連携が不可欠ですので、ご協力をお願いします。

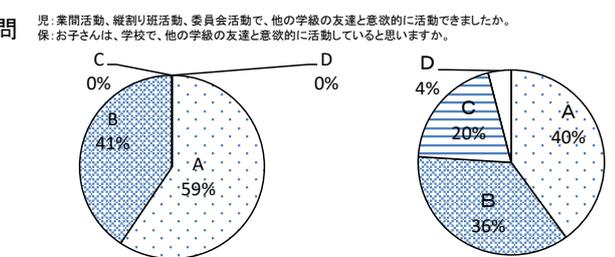
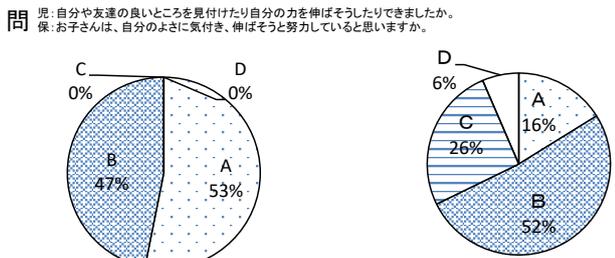
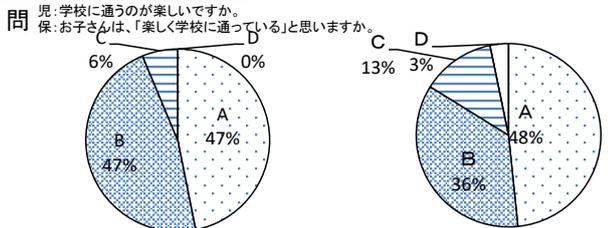
(左側のグラフ)  
児童のアンケート結果(32名)

(右側のグラフ)  
保護者のアンケート結果(31名)

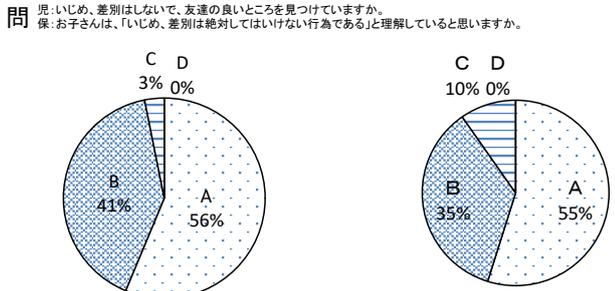
I 「確かな学力と探究力」



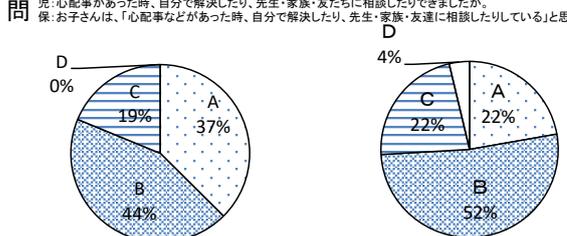
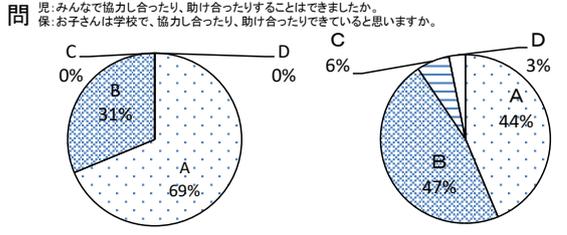
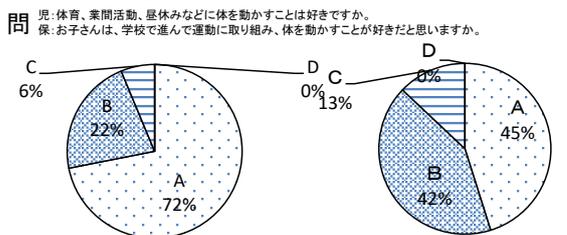
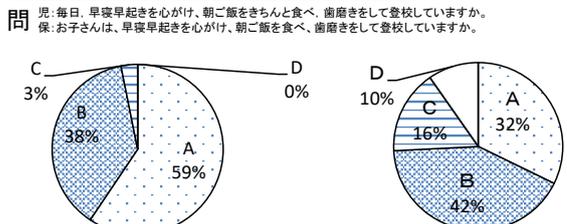
II 「安心・安全」



よく分からない 6名



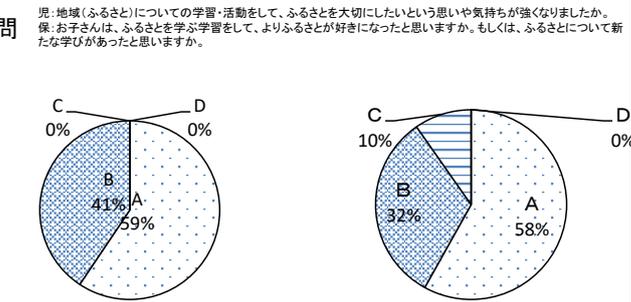
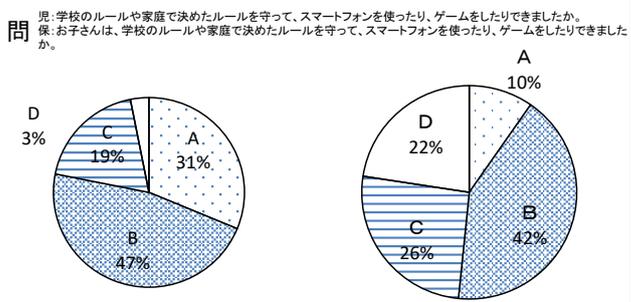
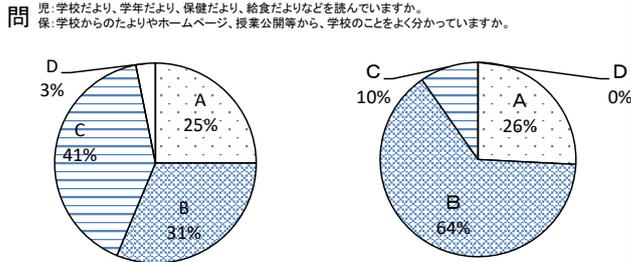
III 「健やかな体と豊かな心」



心配事がなかった 16名

心配事がなかった4名

IV 「信頼される学校」



A よく当てはまる B だいたい当てはまる C あまり当てはまらない D ほとんど当てはまらない